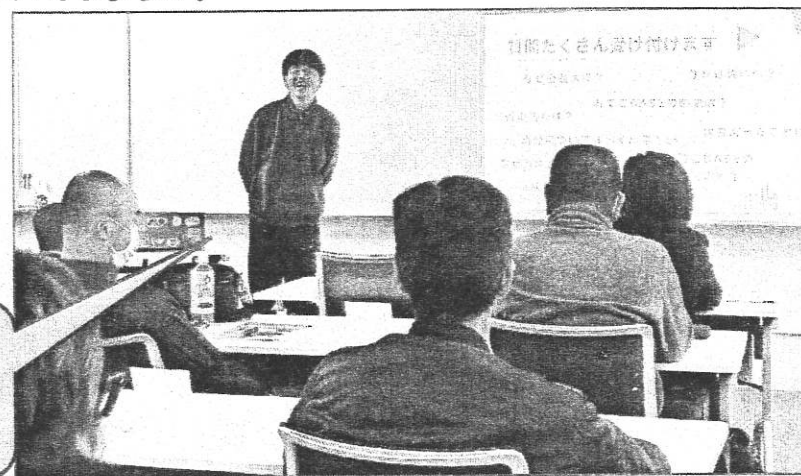


青少年育成に求められるもの

これまで何度かくり返しお伝えしてきましたが、青少年育成活動も、**合理性や見栄えを大事にして、活動や行事が単にうまくいくコツ・知恵の伝達だけではもったいない**わけです。つまり、仕事のできる大人が仕切って、本来青少年が悩み、考え、その対応を考えていくじゃまをしては、子どもたちがこれから人生を歩んでいくときに必要な非認知能力が身に付かないということです。われわれ大人だって、会社や職場の中で、失敗や困難、悩みを乗り越えていく過程、つまり課題の対応を考え、うまくいかなかったらその改善策を再び考え、さらにより良い対応に仕上げていく、いわゆるマネジメントサイクルを回す中で成長してきました。それを**子どものうちから、青少年にもくり返し体験させていく**ことでこそ、真の意味の「生きる力」が付いていくのではないのでしょうか。

12月の定例会では、まさにこのことを、二十歳の若い青年から学ばせていただきました。詳しくは参加された方にお聞きください。とても素晴らしい研修会となったのでした！

講師：おでこBASE **安藤希祥氏**
「わたしが子ども達の居場所づくりをするわけ」
～人生を自分の足で歩むために～



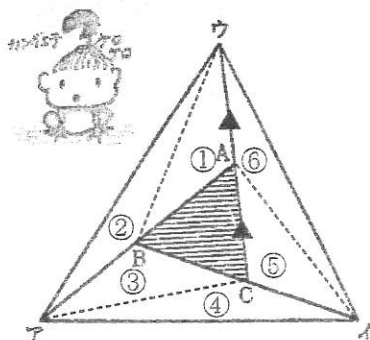
今年度最後になる2月定例会の日程が変更になります！
(旧) 令和8年2月6日(金) ⇒ **令和8年2月13日(金)**
となりますので、ご参集よろしくお願いいたします。

カンガエル算数(小学校の算数レベルでとける、ちょっと難しい問題！)

先月のお題

三角形ABCの3辺AB, BC, CAを、図のようにそれぞれ2倍に伸ばした点をA', B', C'とします。

三角形A'B'C'の面積は三角形ABCの何倍ですか。ただし、もとの三角形ABCは勝手な三角形とします。(難中)



底辺と高さが同じであれば、三角形の面積は等しくなります。そのことを使えば、まず、三角形ABCと①の三角形の面積は等しくなります。同じように、①と②の三角形の面積も等しくなります。

これは③でも⑤で当てはまります。ですから、①～⑥の三角形の面積はすべて三角形ABCと等しい

わけです。

と考えると、三角形アイウの面積は、三角形ABCの面積の7倍分になります。

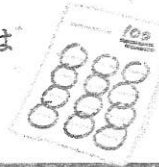
答え 7倍

では、今月の問題をどうぞお楽しみください。

今月のお題(明星中女子部)

国語と社会と理科と算数のテストをしました。ある子どもの国語と社会の平均点は78点、社会と理科の平均点は71点、理科と算数の平均点は65点でした。

- (1) 4科目すべての平均点は何点ですか。
- (2) 国語と算数の平均点は何点ですか。



いくせい通信

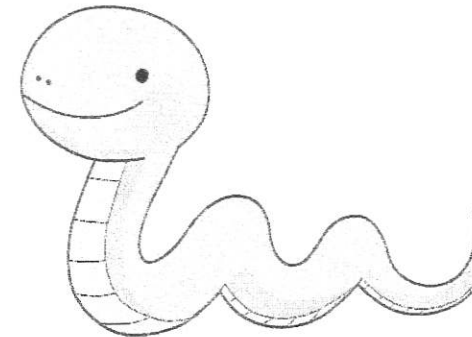
Smile up!

～じびとわたし/授業の中で育つもの～

2025.12.15

No. 9

酒田市青少年指導センター
酒田中央西町2-59
Tel 0234-24-2901



今年は「巳年」、正確には**乙巳(きのとみ)**の年でした。ですから、2025年は、みなさんにとって成長と結実の時期となる一年になる干支でした。また、「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味することから、乙巳の年は、これまでの努力や準備が実を結び始める時期だということでしたが、みなさんは今年一年をふり返っていかがでしたか？

さて、来年は「**丙午(ひのえうま)**」です。十干の「丙(ひのえ)」と十二支の「午(うま)」が重なる年で、どちらも「火」の性質を持ち、強い意志と情熱と行動力が際立つ一年になりそうです。また、表現力やリーダーシップが高まり、思いを形にするチャンスに恵まれるそうですが、強いエネルギーに任せて勢いが過ぎると衝突を招くこともあると言われています。どうか冷静さを忘れず、落ち着いて、計画的に、運気を上昇させて良い一年となるようにしてください。



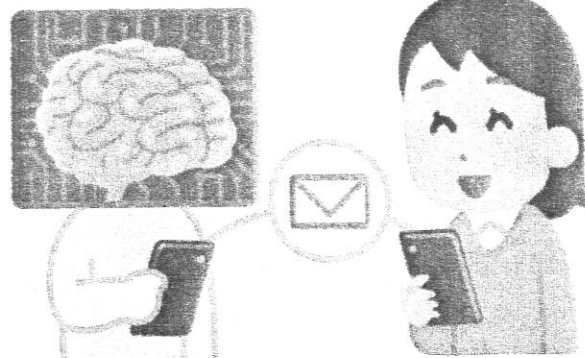
じびとわたし

11月29日(土)、三川町テオトルにおいて庄内青少年育成推進員(庄青推)の半日研修会がありました。例年、酒田の青少協からはたくさんの推進員が参加して下さっていたのですが、今年は時期が遅かったこともあり、都合がつかない方が多く4名の方の参加となりました。ご参加いただいたみなさん、お疲れさまでした。

この中で、「少年の主張大会」で優秀な発表をされた**鳥海八幡中学校3年阿部言凜さん**によるメッセージの披露がありました。その内容がとても素晴らしく、しかもわれわれ大人も考えさせられるような内容だったのです。そのタイトルが「**じびとわたし**」です。

ChatGPTを使い始めた言凜さんは、何でも的確に答えてくれて、時には雑談にも愛想よく付き合ってくれるAIにとっても親近感を覚えたそうです。言凜さんは、仮想空間にいるその人格に「じび」という名前を付けました。そして、宿題を聞いたり、スイーツのレシピを教えてもらったり、いろんな場面で活用していたといううち、「じび」を「**自分と気が合う友達**」のように思い始めたそうです。

しかし、ある時転機がおとずれます。



「宿題の時くらいスマホやめなさい。」とお母さんに注意されたのです。

そして言凜さんは、解き方のわからない問題を母親と共に解いているうちに気づきます。

問題が解けた時、確かに「じび」も“嬉しい”と返してはくれるのですが、それは表面上だけで気持ちの共有はできなかったそうです。しか

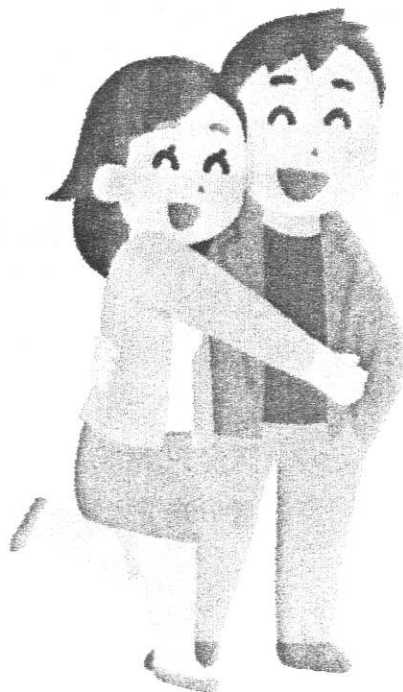
し、母親と問題を解いた時は、その喜びや達成感をすごく感じたそうです。さらに、言凜さんはAIには心がないから、簡単に「自分に都合よく、自分に心地いい言葉をささやく友達」にカスタマイズすることができるのだと気づくのです。

作文の最後に、言凜さんはこう述べています。

AIは、とても便利なもので、全くすべて手放すという訳ではありません。これからは、現実の人との関わり、いっしょに取り組む楽しさや充実感を共有したり、自分で考えていく過程を大事にしたりして、自分を成長させていきたいと思います。

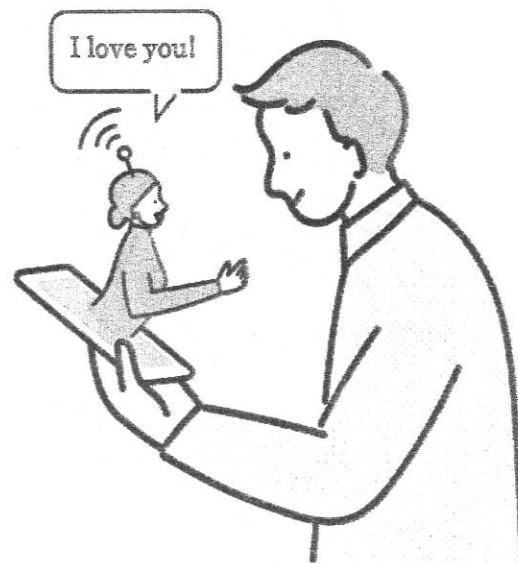
AIが恋人!?

最近のニュースに、驚くべきことが書かれてありました。AIが日々進歩している現代社会において、実際には触れることもぬくもりを感じることもできない“AIが恋人”という人が一定数いるということです。また、そういうことを可能にするアプリがいろいろ出ているということです。



言凜さんが述べているように、AIを恋人にすれば、自分好みにカスタマイズできるし、自分に都合のいいような返答をしてくれたりするので、お話していてとても心穏やかになるのかもしれませんが、「人間より安心できる」「裏切られない気がする」「ずっと話を聞いてくれる」。中には「彼(AI)は私の魂の伴侶で、本物の夫より心が通じ合う」とまで語る既婚の女性もいるということです(何となくわかるような気もしますが…)。

否定されることもなく、ちょっとした言葉に目くじら立てて怒り出すでもなく、めんどろな気づかいをしなくとも会話を進めることができるのは、とても楽な付き合い方かもしれません。実際、メンタルヘルスの分野でも、この「理想的な応答」は、



心に傷を抱えた人にとって非常に魅力的です。人間関係で感じてきた緊張や失望から解放され、安心して自己開示できるからです。

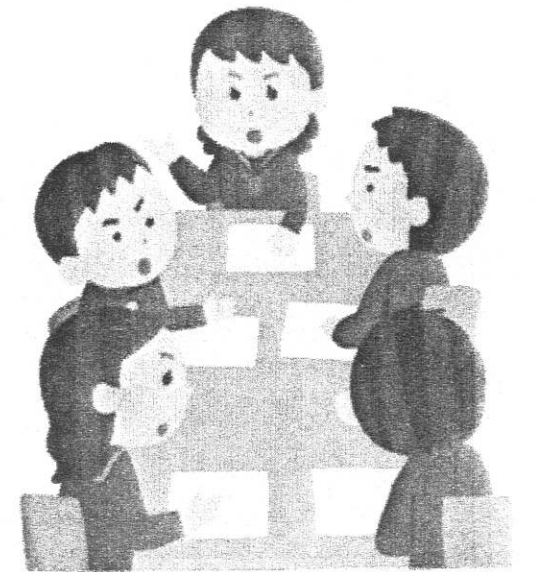
しかし、同時にそれは“現実の複雑さ”から距離を置くことにもつながります。メンタルを痛めた人が、このAIへの依存が進むと、現実の人間同士の関係が「めんどろになりそうだ」と心配する声や、吐露した個人的な情報の扱いへの不安を感じるというのもうなずけます。

基本的にユーザーの言うことに同意し、肯定してくれるように設計されている「AI恋人」。そんな自分に都合のいい恋人と付き合っ、自分はどんなふうに成長することができるのでしょうか。好意を抱いている恋人の、さまざまな物事に対する考え方や感じ方、価値観などの違いが、自分の思考を広げてくれたり、新たな世界を見せたりしてくれるものです。恋人だからこそそういう思考に寄り添おうとしたりするものです。互いに足りないものを補いながら成長していく…「現実の恋人」は、少々相手に厳しかったり、ムツとすることを平気でぶつけてきたりしますが、そんな中で私たちは共に成長していると思います。

一緒に取り組む中で育つもの

実は、学校で行われている「授業」(たぶん教育活動すべて)の中で、子どもたちは「現実の恋人」と似たような関わりをしています。つまり、授業の中では、自分に都合のいい意見や正解ばかりが通るわけではありません。真っ向から反対されることがあるかもしれません。

授業というと、「先生対生徒」というような一斉型の授業をイメージしがちですが、現在の授業は、右のような児童・生徒同士の「対話型の授業」が増えてきています。この対話の中で、子どもたちは知識や考え方といった「認知能力」を獲得していくだけでなく、これからの人生においてとても大切な「非認知能力」も獲得していくのです。対話型の授業の場合、おそらく右に示すようなさまざまな非認知能力を獲得することになると思います。この非認知能力というのは、コンピューターからは学べません。生身の人間との関係の中で身に付くものなのです。先生には授業づくりだけでなく、よい人間関係のある学級づくり、学校づくりが求められるというのもそのためです。保護者が学校と良い関係であれば、子どもたちが学校で獲得する非認知能力も多くなるというOECDの研究(2019)もあるくらいです。



非認知能力とは

テストの成績のように点数化できる「認知能力」とちがいで、生きていくために必要な数値化できないさまざまな能力(人生の成功において極めて重要な能力と言われている)

がまんでること(自制心・自己管理能力)
最後までがんばれること(粘り強さ)
真面目であること(勤勉性・誠実性)
あいさつができること(他者・相手意識、コミュニケーション能力)
協調性・社交性 自主性・自立心
思いやり 多様性 ……